

# シグマ研究委員会

## 昭和58年度第7回運営委員会議事録

日時 昭和59年1月20日(金) 13:30～17:00  
場所 東京都勤労福祉会館6階, 第5洋室  
出席者 原田(委員長, 原研), 白方(動燃), 梶山(東北大), 関(雄)(FBEC),  
中沢(東大炉), 中嶋(法大), 村田(NAIG), 五十嵐, 菊池, 松浦  
(原研)  
オブザーバ: 吉田(NAIG), 鹿園, 松本, 浅見(原研)

### 配布資料

1. 前回(58.11.18)議事録(案)
2. 「1984情報学シンポジウム—自然科学ファクトデータを中心として—」の開催について
3. 科研・エネルギー特別研究(核融合)ブランケット工学班 昭和58年度研究成果 班内報告・討論会(案)
4. Twenty-fourth Meeting of the NEANDC
5. NEANDC第24回会合準備
6. Preliminary Summaries of NEANDC Specialists' Meeting on Fission Product Yields and Decay Data
7. 昭和58年度シグマ研究委員会(シグマ特別専門委員会)委員名簿
8. シグマ特別専門委員会内規
9. Santa Feの核データ会議のテーマについての意見
10. OECD/NEA 専門家会議「核分裂生成物の収率と崩壊データ」
11. Decay Heat Data Needs, by T. Yoshida et al.
12. 日本原子力学会, 昭和59年年会, 核物理・核データ, プログラム

### 議 事

1. 前回議事録確認  
資料1により確認を行った。
2. 事務局報告

- (1) 委員会旅費：追加配算を請求中であるが、WG会合の開催は年度内各1回位行える見込みである。
- (2) 核データ研究会の会計報告：昨年行われた核データ研究会の総費用及び出席者数について報告があった。これに関連して、研究会の反省について討議が行われ、ポスターセッション、バスの配車の試みは良かったとの意見が多かった。
- (3) 各WGの58年度活動状況と59年度計画の資料の作成を近く依頼する。
- (4) 情報学シンポジウム：資料2により紹介があった。

### 3. 大関関係活動状況報告

楢山氏から資料3にもとづき、エネルギー特別研究(核融合)ブランケット工学班及びトリウム燃料研究班の研究成果の班内報告・討論会が1月31日～2月3日に行われることが紹介され、関心のある人は出席して欲しいとの話があった。

### 4. NEANDC第24回会合

五十嵐氏からNEANDC第24回会合のプログラム(資料4)の紹介とともに、資料5によりTopical Conference及びReceptionの日程、Topical Conferenceへの外国からの講演申し込みについて説明があった。講演は日本から4件、外国から3～4件の見込みであるとのことであった。

### 5. 59年度委員委嘱について

59年度の委員発令に当り、内規(資料8)によると現在の本委員(資料7)は58年度末で任期切れとなることから改選の手続きが必要になり、内規に従って近く問合せ状を各委員に発送する旨、浅見氏から説明があった。

五十嵐氏から運営委員会を強化するために、WGリーダーにオブザーバとして出席してもらうことを考えたいとの話に対して、そのオブザーバはその都度でなく常時出席の方がよいとの意見があり、候補者について討議を行った。数名の候補者のうち長谷川氏(原研)については了承がえられた。また、国際協力などを推進するために若手を育てる対策を考える必要のあることが指摘された。

### 6. NEANDC Specialists Meeting on FP Yields and Decay Data 出席報告

吉田氏(NAIG)から資料10,11により会合の概要及び発表論文についての詳しい説明及び資料6によりworkshopでの討議内容などについての説明が行われた。これに関連してPandemonium問題などについて討論があった。また、関氏から“もんじゅ”の実機の崩壊熱計算にJNDCライブラリーを使うことになったことが紹介された。なお、次の会議はDelayed Neutronに関して1985年にBirminghamでやることになったとのことであった。

#### 7. 核データ専門部会活動

菊池氏から12月2日に行った核データ専門部会の全体会合の様子について説明があった。その中で、各WGでJENDL-3の評価作業を進める過程で、JENDL-2のstatus reviewをやる必要があることが指摘され、そのためにデータのプロット図を早急に作成することになったこと、先に提案のあったadvisory groupの新設には反対の意見があったことなどの話があった。関連事項として、JENDL-3PR1の現状、ガス生成核データWGの今後、JENDL-2 FP ファイルの作業状況について説明があった。

#### 8. Santa Fe Conference への提案テーマ

五十嵐氏から、Santa Feの会議のテーマについての木村氏（京大炉）からの提案（資料9）が紹介され討議を行った。それ以外のものとしてFNS実験解析、評価関係では重核の同時評価、核種生成量の解析などが挙げられた。

#### 9. 原子力学会、春の年会

楢山氏から資料12により、春の学会での核物理・核データ、核融合炉ニュートロニクスの口頭発表及び特別会合の予定について説明が行われた。

次回は2月24日（金）午后に東海研で行う予定。